

素敵に輝け！

遡っての確認学習

5・6年生が3年生の1学期まで遡って、国語、算数、理科の単元毎のプリントに取り組んでいます。「高学年に3年生からのプリントは簡単すぎでしょう」と思われるかもしれませんが、これがなかなかどうして、計算ミスがあったり、問題を抜かしてしまったりと結構間違えてしまうのです。しかしこれが却ってよい効果になるのではないかと考えています。

まず、「落ち着いて問題を読み取ること」「書き終えたら確認すること」をしっかりしないと簡単な問題であっても間違えてしまうことを実感すると思います。また、「考えても間違える」「どうしても分からない」という問題に出会ったときは、「私は、〇年の〇〇の勉強の理解が不十分なのだ」と自分の不得手としている箇所を把握することができます。

算数は積み重ねの学習が大事だと言われます。それぞれの単元が独立しているのではなく、学んだことを積み重ねながら学習を深めていきます。新しい内容の学習でつまづいてしまう場合、実は以前の学習が十分理解できていないことが原因になっている場合があります。従って、今まで習ったところを遡って理解できていない箇所を見つけ、それを克服すれば、新しい学習も分かるようになるはずです。

プリントの丸付けは、校長・教頭・教務主任が行います。いきなりどっさり持ってこられても丸付けが大変なので、担任の先生から「多くても10ページ程度で出してほしい」「答えの正誤だけでなく、字が正しいかも見るよ」「間違えたら、そこで丸付けを止めて返すよ」ということを伝えてもらいました。

早速、子供たちのやる気に火が付いたのか、配ったその日に4人が見せに来てくれました。中には「10ページは書けなかったけど、書けるところまで書きました」という子も。いいんです、それで。そういう「やろう！」という気持ちが嬉しいです。休み明けの月曜日の朝、外にいる私の所へわざわざ持ってきてくれた子もいます。意欲が伝わってきます。

この取組では速さを競うのではなく、「自分の苦手な箇所を明らかにする」「苦手な箇所を克服する」、加えて「落ち着いて確認する」ことにつながればよいと考えています。少し進んでは立ち止まり、立ち止まっては悩みと遅々とした進みになるかもしれませんが、それでも構いません。分からない箇所については、助言をしたり、個別に相談に乗ったりしながら確実な理解につなげていきたいと思っています。

では、子供たちの頑張りに応じて、私たちも丸付けに励みます。